

平成 29 年度安全装置等導入促進助成金交付要綱

一般社団法人宮崎県トラック協会

（事業趣旨）

第 1 条 宮崎県トラック協会（以下「県ト協」という。）は、事業用トラックの交通事故ゼロを目指すため、危険予測に効果があると思われる安全装置等（以下「装置」という。）の導入を実施する会員事業所に対して助成金を交付する。

（対象装置）

第 2 条 助成の対象となる装置は、次に掲げるものとする。

（1）後方視野確認支援装置

後方視野確認支援装置は、次の機能を全て有するものに限る。なお、装着にあたっては、道路運送車両の保安基準に抵触しないことを条件とし、対象機器は別表に示すものとする。

- ①後退時の後方視野が確保できること。
- ②運行時（前進も含む）において後方視野が確保できること。
- ③概ねルームミラーの位置において後方視野が確保できること。

（2）側方視野確認支援装置

※（2）については、中型自動車及び大型自動車の左側に側方カメラを装着した場合に限り、助成対象とする。

（3）呼気吹き込み式アルコールインターロック装置

呼気吹き込み式アルコールインターロック装置は、国土交通省の技術指針に適合しているものとする。

（4）IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器

※（4）については、安全性優良事業所（Gマーク認定事業所）が導入する場合に限り、助成対象とする。

（交付額）

第 3 条 助成金の交付額は、会員事業者が当該年度に新たに車両に装置を装着する場合、1 台につき対象装置ごとに 1 万円を交付する。但し、第 2 条に掲げる対象装置 **(1)、(2)、(3)、(4)の申請台数を合算して 1 会員事業所あたり 10 台を限度とする。**

※ただし申請日現在、県内にて G マーク（安全性優良事業所）を取得している事業者は、**1 会員あたり 15 台を限度**とする。

（実績報告及び助成金の請求）

第 4 条 別に定める期日までに取りまとめて、様式 1 の「安全装置等導入促進助成事業実績報告書」（助成金交付請求書）及び安全装置導入内訳書により、協会長に対して助成金を請求する。

（実績報告提出期限）

第5条 前条の実績報告書の提出期限を当該年度3月15日（土・日の場合はその前日）までとする。

（助成金交付）

第6条 県ト協は、前条の「安全装置等導入促進助成事業実績報告書」（助成金交付請求書）の提出があったときは、その報告を審査し条件に適合すると認めるときは、会員事業所に対して、助成金を交付する。ただし、前年度会費未納事業所は対象外とする。

（財産の処分制限）

第7条 会員事業者は、交付対象となった装置が装着の日から起算して下記の期間を経過するまでの期間は、譲渡、交換、廃棄、他用途への転用、貸付又は担保に供してはならない。但し、あらかじめ県ト協の承認を得た場合はこの限りではない。

- （1）後方視野確認支援装置 1年
- （2）側方視野確認支援装置 1年
- （3）呼気吹き込み式アルコールインターロック装置 1年
- （4）IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する
携帯型アルコール検知器 1年

（その他必要な事項）

第8条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関するその他の必要事項は、県ト協が別にこれを定める。

（対象期間）

第9条 平成29年4月1日から平成30年3月15日までに装着したものを助成対象とする。

（附則）

本要綱は平成18年 4月 1日より施行する。

平成19年	4月	1日一部改訂
平成20年	4月	1日一部改訂
平成21年	4月	1日一部改訂
平成22年	4月	1日一部改訂
平成23年	4月	1日一部改訂
平成24年	4月	1日一部改訂
平成25年	3月29日	一部改訂
平成26年	3月26日	一部改訂
平成27年	4月	1日一部改訂
平成28年	4月	1日一部改訂
平成29年	4月	1日一部改訂

安全装置等導入促進助成事業実績報告書 (助成金交付請求書)

一般社団法人宮崎県トラック協会長 殿

(申請者)

住 所

会 社 名

代表者氏名

担 当 者 名

印

安全装置等導入促進助成金交付要綱第 4 条に基づき、助成金の支払について、下記の通り請求します。

記

1. 助 成 金 額 _____ 円

2. 助 成 内 容

(1) 支店・営業所名 _____

(2) 導入機器(装着メーカー名) _____

〃 (装置名称・型式) _____

(3) 導入台数 _____ 台 ※1 会員事業所あたり 10 台を限度
※G マーク取得事業者は 15 台を限度

(4) 装 着 日 平成 年 月 日 _____

(5) 車両番号 _____

3. 振込先銀行口座 _____ 銀行・信用金庫 _____ 支店

_____ 預金 _____ 口座番号 _____

_____ 口座名義 _____

4. 宣 誓

弊社は、上記安全装置の導入に対して国の補助金交付申請を行わない(行っていない)ことを、ここにお誓いたします。

**(1) 後方視野確認支援装置 (2) 側方視野確認支援装置
(3) 呼気吹き込み式アルコールインターロック装置**

- ◆添付書類
- 1) 安全装置等導入促進助成事業実績報告書
 - 2) 安全装置導入内訳書
 - 3) 安全装置購入時の領収証の写し、リースの場合、リース契約書の写し
※請求書、領収書、リース契約書等に安全装置の型式、金額等の記載がない場合、別途取付証明書(様式2)を提出すること。
 - 4) 装着車両の車検証コピー

(1) 後方視野確認支援装置 申請における注意事項

平成29年度より、「後方視野確認支援装置」のモニターの運転者室内への設置場所をルームミラーの位置としていた基準を改定、「当該運転者席において容易に後方視野が確保できること。」とし、**ダッシュボード上等への設置を可能とする要件緩和を行っておりますのでご承知おきください。**

28年度までクラリオン(株)製品装着の場合は、対象型式と併せて「ハイマウントモニター取付キット」LAA-057-100等を使用していること、三菱電機(株)製品を装着の場合は、対象型式と併せて「天吊金具」K-7210Aを使用し、装着しているものを助成対象としておりましたが、上記要件緩和により、**取付キット、天吊金具等を使用していなくても申請可能となりました。**

(2) 側方視野確認支援装置 申請における注意事項

後方視野確認支援装置及び側方視野確認支援装置が一体型である装置の取り扱いについて側方視野確認支援装置に関し、後方視野確認支援装置と一体型である場合は、後方視野確認支援装置及び側方視野確認支援装置の各々を助成対象とする。

なお、助成金の申請にあたっては、以下の点に留意する。

① すでに後方視野確認支援装置(バックモニター)を導入している場合

導入済みの後方視野確認支援装置(モニター+後方カメラ)に左側方カメラを後付け装着する場合は、1万円を助成する。

② 新たに後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置を同時導入した場合

新たに機器を同時導入した場合

(後方視野確認支援装置(モニター+後方カメラ)1台+左側方カメラ1台)は、2万円を助成する。

側方視野確認支援装置については、車両総重量7.5t以上の事業用トラックに装着していることを車検証の車両総重量欄から確認する。

必要に応じ、当該装置を導入したことが確認できる写真(左側方カメラを装着したことが判別できること)

(3) 呼気吹き込み式アルコールインターロック装置 申請における注意事項

インターロックのセンサー交換については、アルコール検知器導入助成事業の対象外とする。

(4) IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器

- ◆添付書類
- 1) 安全装置等導入促進助成事業実績報告書
 - 2) 安全装置導入内訳書
 - 3) 携帯型アルコール検知器購入時の請求書、領収証の写し
リースの場合、リース契約書の写し
 - 4) 申請台数分の車検証コピー(申請する営業所所属の車両)
 - 5) 申請事業所のGマーク認定書のコピー

(4) IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器

申請における注意事項

①安全装置等導入促進助成金事業に申請を行った「IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器」については、県ト協の実施するアルコール検知器導入助成事業との重複申請は不可とする。

また、安全装置等導入促進助成事業の申請に関して、安全性優良事業所（Gマーク認定事業所）が導入する場合に限り、助成対象とする。

②『IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器』は、車両に装着する装置ではありませんが、事業用貨物自動車1台につき1台を上限に助成対象とします。したがって、助成金を申請する際には、申請台数分の車検証のコピーも添付してください。

様式 2

※請求書、領収書等に安全装置取付に関する記載が全くない場合、装着証明書を別途提出、装着の有無を確認する。請求書又は領収書等に安全装置取付に関する記載が有る場合は提出不要。

平成 年 月 日

安全装置等(後方視野確認支援装置)装着証明書

住 所
証明書発行 会 社 名
電話番号
担当者名
印

(一社)宮崎県トラック協会平成29年度安全装置等導入促進助成事業に基づき、安全装置等(後方視野確認支援装置)を装着したことを証明します。

記

会員事業者名 : _____

営 業 所 : _____

装着車両番号 : _____

メーカー名 : _____

装置名・型式 : (装置名) _____ (型式)

装 着 日 : 平成 年 月 日

そ の 他 : _____

様式 2

※請求書、領収書等に安全装置取付に関する記載が全くない場合、装着証明書を別途提出、装着の有無を確認する。請求書又は領収書等に安全装置取付に関する記載が有る場合は提出不要。

平成 年 月 日

安全装置等(後方視野確認支援装置)装着証明書

住 所
証明書発行 会 社 名
電話番号
担当者名
印

(一社)宮崎県トラック協会平成29年度安全装置等導入促進助成事業に基づき、安全装置等(後方視野確認支援装置)を装着したことを証明します。

記

会員事業者名 : _____

営 業 所 : _____

装着車両番号 : _____

メーカー名 : _____

装置名・型式 : (装置名) _____ (型式)

装 着 日 : 平成 年 月 日

そ の 他 : _____

安全装置導入内訳書

平成 年 月 日

(一社)宮崎県トラック協会

整理 番号	事業者名	支店・営業所名	Gマーク 認定証番号*1	車両区分*2 中型・大型	区 分*3	導入装置		台数 (台)	助成額	装着年月
						メーカー名	装置名・型式			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
					後方・側方・インター・IT		(装置名) (型 式)			
合 計										

* 1: IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器の場合のみ、導入事業所のGマークコード番号を記入してください。

* 2: 側方視野確認支援装置の場合のみ、装着した車両区分を記入してください。※「中型」の場合は、車両総重量が7.5t以上が対象となります。

* 3: 後方＝後方視野支援確認装置、側方＝側方視野確認支援装置、インター＝呼気吹込み式アルコールインターロック、IT＝IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器